

令和8年5月 斐伊川水系水質情報

令和8年5月(宍道湖11日・中海7日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μ g/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	3.9	△	平年並み	2.8	○	良好	2.7	○	良好
全窒素	上層	0.27	○	良好	0.28	○	良好	0.24	○	良好
全リン	上層	0.034	△	平年並み	0.027	○	良好(平年並み)	0.022	○	良好
Chl-a	上層	7.2	○	良好	4.7	△	平年並み	5.9	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,760	△	平年並み	10,300	△	平年並み	11,300	△	平年並み
	下層	2,860	△	平年並み	15,600	△	平年並み	12,400	△	平年並み
溶存酸素	上層	9.8		平年並み	10.0		平年並み	9.9		平年並み
	下層	7.5		平年並み	8.6		やや高い	9.4		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.0	下降	3.1	やや上昇	4.0	下降
全窒素	上層	0.51	下降	0.37	下降	0.32	やや下降
全リン	上層	0.055	やや下降	0.057	下降	0.040	やや下降

宍道湖の透明度は1.1mから1.8mと上昇し、平年並み。中海の透明度は1.8mから2.6mと上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1.8mから2.5mと上昇し、良好となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%